

事業報告書(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

平成29年3月31日現在
NPO法人兵庫県暮らしにやさしい防災・減災

1.活動の成果(芦屋・神戸発で今後は東京へも活動拡大の見込み)

震災から22年の今年度も昨年度と同様に子どもたちや高齢者、障害を持つ方などの支援団体及び教育関係者等を訪問あるいは電話・電子メールによる防災・減災啓発活動の紹介などを行いました。加えて芦屋市・神戸市などの自治会・自主防災会やボランティア団体等宛に説明資料などを送付して防災意識の啓発を行いました。また神戸新聞・毎日新聞に記事・写真の掲載により当該NPOの防災かるたなどが紹介され、さらに東京でのかかるた取りやぬり絵会にもかるたが活用され、年度末には東京大学大学院主催の東京コンファレンスに於いても防災かるた等の展示により、遠く広く周知がなされてきています。

直下地震の備えも必要な東京の方々に発信できたことは当NPO法人ホームページ(URL)掲載継続による成果と言えます。地元を中心に防災講演会やかかるた取りなどを通して地域や学校での啓発活動や講演活動なども行ないました。

事業として、定款第5条のうち、次の①～③の事業を実施し、対象とする人々の「防災意識」と「自助意識」の向上を図ることができました。

- ①高齢者など、災害弱者の暮らしを支援する事業。
- ②災害救援と災害予防の普及啓発事業。
- ③子どもの主体的な自助意識の向上を図るための普及啓発事業。

2.特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項(活動実績一覧表)

(1)特定非営利活動に係る事業の実施。

上記記載のとおり、①～③の事業を実施した。実施内容は下表のとおり。

日付	対象(地域・学校など)	場所・内容など	人数	添付資料
平成28年6月12日	大阪府四条畷市田原台8丁目自主防災会で防災講演会	四条畷市田原台北谷公園内管理事務所で「直下地震に備える」の話	24	
平成28年8月1日	夏休み・防災かるた取りと防災かるたのぬり絵会など子供たちと家族が参加	東京都千代田区三井不動産ビルマネジメント(株)霞が関オフィス	77	
平成28年12月3日	東灘こどもカフェの防災かるた取りと減災の話など(芦屋市立小学校8校全生徒対象)	芦屋市市民活動センター会議室C,D 児童と父兄及び地域住民の参加	81	写真①～②
平成29年1月16日	あしやキッズスクエア(放課後こども教室)でのカルタ取りと話(1/16～1/23)	芦屋市立5つの小学校・各教室	56	写真③～⑥
平成29年1月17日	1.17の日の防災かるた取りほか	芦屋・浜風の家で近くの園児と父兄・近隣住民	31	添付新聞2紙参照
平成29年1月24日	芦屋市奥池地区の災害時要援護者の支援について話し合いと啓発活動	芦屋市奥池地区防災士と災害時支援の打合せ	4	
平成29年1月26日	神戸市市長に防災かるた・ぬり絵の説明と防災かるたなどの贈呈	神戸市役所1号館秘書課	3	
平成29年2月5日	東京大学主催の「東京コンファレンスの分科会」に防災かるた・ぬり絵などを展示	東大工学部11号館(防災を通じたコミュニティ形成のススメ)第2分科会で会場内展示	170	写真⑦～⑧
平成29年3月22日	あしやキッズスクエア(放課後こども教室)でのカルタ取りと話と液状化実験など	芦屋市立宮川小学校・教室	12	写真⑨
平成29年3月24日	あしやキッズスクエア(放課後こども教室)でのカルタ取りと話と液状化実験など	芦屋市立浜風小学校・教室	16	写真⑩
平成29年3月28日	あしやキッズスクエア(放課後こども教室)でのカルタ取りと話と液状化実験など	芦屋市立朝日ヶ丘小学校・教室	12	写真⑪
平成29年3月29日	愛知県碧南市・市議に対して防災研修会開催	芦屋市・木口記念会館3階会議室	4	
平成29年3月30日	あしやキッズスクエア(放課後こども教室)でのカルタ取りと話と液状化実験など	芦屋市立精道・山手・潮見小の各教室	36	写真⑫
		計	526	人

写真台帳 - 1

写真① 東灘こどもカフェのかるた取り会(芦屋市民活動センター)



写真② 東灘こどもカフェのかるた取り会(芦屋市民活動センター)



写真③ 芦屋市立小学校での放課後子ども教室・かるた取り



写真④ 芦屋市立小学校での放課後子ども教室・かるた取り



写真⑤ 芦屋市立小学校での放課後子ども教室・かるた取り



写真⑥ 芦屋市立小学校での放課後子ども教室・お話し



写真⑦ 東京大学大学院「東京コンファレンス」かるた展示



写真⑧ 東京大学大学院「東京コンファレンス」分科会など



写真台帳 - 2

写真⑨ 芦屋市立小学校6校での放課後子ども教室・かるた取り



写真⑩ 芦屋市立小学校6校での放課後子ども教室・三角巾



写真⑪ 芦屋市立小学校6校での放課後子ども教室・液化化実験



写真⑫ 芦屋市立小学校での放課後子ども教室・液化化実験



↓ 芦屋市・浜風の家での防災かるた取り
2017年1月18日神戸新聞

↓ 芦屋市・浜風の家での防災かるた取り
2017年1月18日毎日新聞

神戸新聞 2017年(平成29年)1月18日 水曜日 社会 2 2017年(平成29年)1月18日(水) 阪神 尼崎 兵庫 26

かるたで育む防災知識

児童館「浜風の家」(芦屋)

震災遺児の心のケアのために建設された芦屋市浜風町の児童館「浜風の家」で17日、メモリアル行事がある。子どもたちがかるたで防災知識を学んだ。

1999年、作家の故藤本義一さんの呼び掛けで開設。社会福祉法人のぞみ会が運営している。遺児の利用がない現在は児童館として子どもたちを受け入れている。

この日は防災士の芦田耕司さん(69)を講師に招き、防災かるたに挑戦。3〜6歳の18人が4グループに分かれて対戦した。「避難勧告すぐ従おう」「来るよ！地震三兄弟」などと読み上げられると、子どもたちは競って絵札に手を伸ばした。

施設の土地は来年3月末までに返還するよう兵庫県から求められており、寅巴里ハッサン施設長(51)は「来年3月で閉鎖になるかもしれないが、来年の1・17は必ず行事をしたい」と意気込んだ。(篠原拓真)

園児ら楽しく「防災カルタ」市内にある震災遺児・孤児のための心のケア施設「浜風の家」であった避難行事には施設内にいる幼稚園の園児3〜6歳までの約20人とその母親らも参加。講師に招かれた地元NPO法人「兵庫県暮らしにやさしい防災・減災」の芦田耕司理事長(69)が「大きな揺れが来たら、姿勢を低くして身を守って」と呼び掛けた。その後、防災知識を題材にした「防災カルタ」に取り組んだ。

参加した渡辺暖真君(6)は「ここで大きな地震があったことを初めて聞いた。カルタで楽しく地震のことを学べた」と話していた。(石川勝義、山本夢)

取り組んだ。

参加した渡辺暖真君(6)は「ここで大きな地震があったことを初めて聞いた。カルタで楽しく地震のことを学べた」と話していた。(石川勝義、山本夢)

防災かるたに熱中する子どもたち＝芦屋市浜風町

防災カルタに取り組む子供ら 芦屋市の「浜風の家」で